

ストーリーとナラティブ

文芸モデリング

目的・要求・判断・シナリオを、人と生成AIが共有できるモデルとして残す



同じ対象を、三つの側面から表す

オブジェクト・モデル

実行可能な形式構造と実行
例

知識モデル

概念・規則・意味関係・根
拠のつながり

文芸モデル

目的・状況・要求・判断・
シナリオを自然言語中心で
保持

三つは別々の対象ではなく、SimpleModelingモデルの異なる側面である。

ストーリーを、ナラティブとして構成する

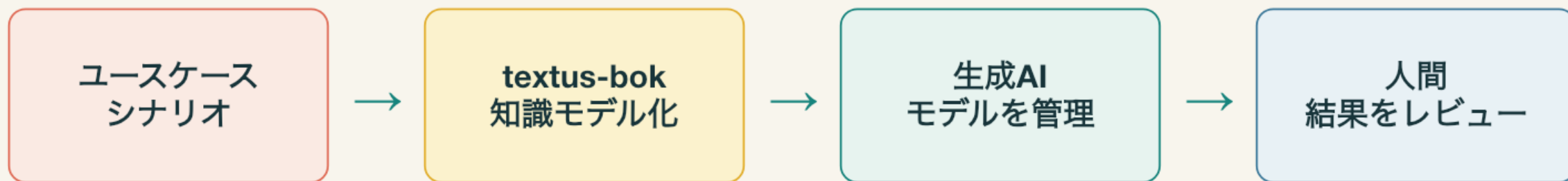


ストーリーを特定の視点・目的・文脈から選択・配列・説明し、ナラティブとして構成する。

- ストーリー：『何が起きるか』という意味内容
- ナラティブ：視点・目的・文脈から構成した文芸モデル
- 同じストーリーから複数のナラティブ。ユースケースシナリオは利用者視点の代表例。

ユースケースシナリオを、AI開発の直接入力へ

要求モデリングの核となるユースケース技術をAI開発で活用する。



承認・指摘を生成AIへ返し、次の更新へ

- ユースケースシナリオが利用者の目的とシステムの振る舞いを表す
- textus-bokが文芸モデルを知識モデル化し、生成AIへ接続する
- 生成AIがオブジェクト・モデルとCMLを主に生成・更新・管理する
- 人間は結果をレビューし、承認または指摘を生成AIへ返す

自然言語を、モデルとして組織する

自然言語で書くだけでは、文書は文芸モデルにならない。

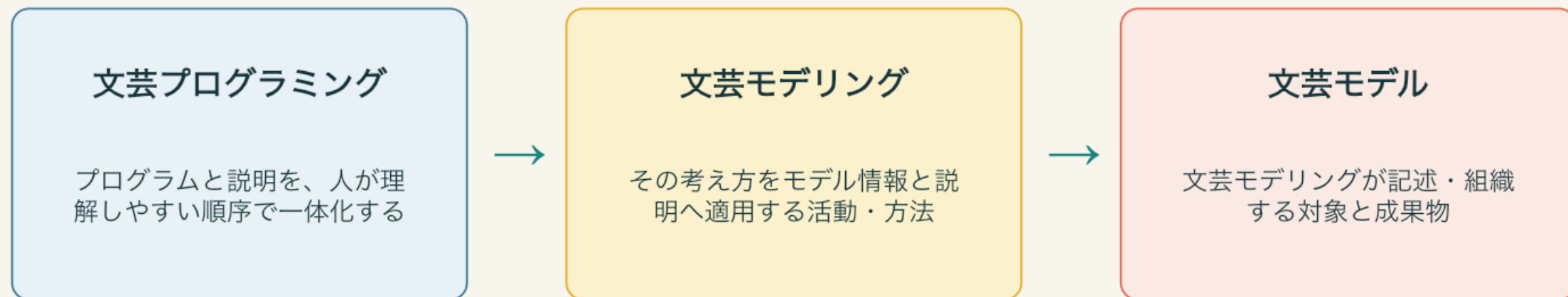
01 対象と目的が明確である

02 意味と識別子をたどれる

03 他のモデル要素へ対応する

04 設計・判断・検証・説明の入力になる

文芸プログラミングの考え方を、モデルへ広げる



CML文書は、形式要素がオブジェクト・モデル、自然言語の説明が文芸モデルという形で両方にまたがる。

説明文書と目的別ドキュメントを、文芸モデルとして組織する

文芸モデル 事実の正本

SmartDoxをフルスペックの基本
記述言語とし、Markdownも利用
できる。



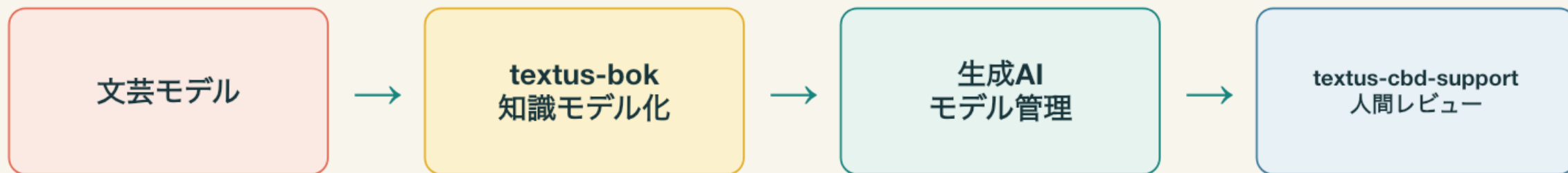
要求仕様: 要求、制約、受け入れ条件を構成

ユーザーガイド:
ユースケースとシナリオを主要な元情報にする

ドメイン説明文書:
概念・規則・関係を自然言語で記述

正本を更新して目的別に再構成し、重複とずれ
を減らす

生成AIがモデルを管理し、人間がレビューする



レビュー結果を生成AIへ返す

人間の役割は、モデルを直接編集し続けることなく、意味と結果への説明責任を持つことである。

「注文を確定する」を、三つの側面で見ると

文芸モデル

購入者の目的とシナリオ

知識モデル

注文確定の意味・規則・根拠・出典

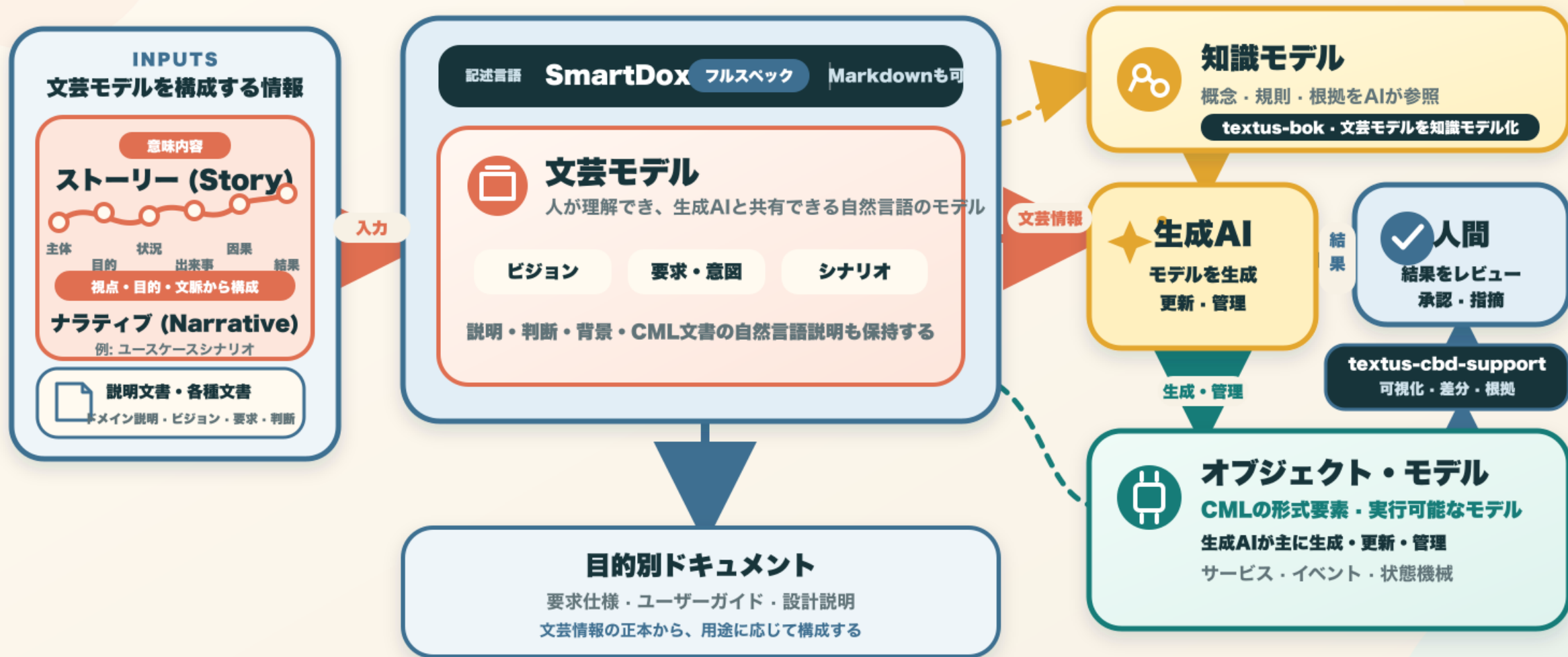
オブジェクト・モデル

サービス・イベント・状態
機械

生成AIが用語集の識別子を手掛かりに対応を管理し、人間が結果をレビューする。

ストーリーをナラティブとして、AI開発へつなぐ

文芸情報を知識化し、生成AIがモデルを管理、人がレビューする



● 文芸モデル - - - - - ● 知識モデル - - - - - ● オブジェクト・モデル 用語集の識別子で、同じ対象を対応付ける